



山本先生からのアドバイス 2月編

矯正時期のタイミング

子供の矯正を始めるにはいつごろがよいですか？と聞かれることがよくあります。私の場合は小学校4年生~5年生くらいからと答えています。それ以前に取り外し可能な装置を使う方法であれば3年生あたりに始めるのがよいです。

この時期をお勧めするのは、あまりに幼いと治療が困難であることが大きな理由の一つです。無理強いさせるといやになるなど後々支障をきたすこともあります。

また、この時期は、乳歯と永久歯が混ざった時期と成長期が重なり骨も柔らかいので、永久歯の生えるスペースを作れる可能性があります。すべて永久歯が生えそろってしまうと、スペース確保の為どうしても歯を抜かなければならないことがありますので、比較的抜歯を避けることが可能となります。

しかし欠点はうまく歯磨きができないことがあるので、虫歯を作ってしまう可能性がある点です。

本人がうまく歯磨きができるかどうかを見極めて治療を始めなければなりません。口腔清掃があまり上手にできないようであれば、もう少し時期をずらして自己管理ができる年齢になってから始めるのがよいかもしれません。

あくまでも矯正は本人のやる気が大事です。歯並びがよくなっても虫歯になってしまうようであれば意味がありませんので、最終的には本人の意思が重要になってきます。

また高校生前後になると親知らずが生えてくることもあり、その際にせっかく治った歯並びが少しずれてしまうことがあります。

再度治療になることがあります。程度としては比較的軽度の場合が多いので、治療も短期間で終了することが利点です。一方で、取り外しの装置を使う方法はあくまでも噛み合わせの改善、歯並びというよりは顎が小さく永久歯の生えるスペースを将来確保するための治療法ですので、後々歯に矯正装置を取り付けて治す必要性が出る可能性があることも覚えておいてください。

治療開始の時期はタイミングを逃しても、いつでも始めることは可能ですのでご相談ください。

HEALTHWAY JAPANESE DENTAL CENTRE
歯科医師 山本能康 TEL 6733 9785

メールアドレス：hjmc@healthwaymedical.com

176 Orchard Road #06-05 The Centrepoint